



主体的な学びを支える教育

校長 相川 保 敏

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく願い致します。

元日に令和6年能登半島地震が発生しました。名古屋は震度4でしたが揺れている間中「どれくらい続くのか」「さらに大きく揺れるのではないか」という恐怖が頭の中をよぎりました。被災地では家屋の倒壊、火災、津波、山崩れ、液状化など、見るだけでも心が苦しくなる映像が次から次へと配信されました。死者は168人、約28000人の方々が避難生活を余儀なくされています(1月8日現在)。道路の遮断による物資の不足とともに、寒さや悲しみに耐えられている方々の胸中を思うと言葉が出ません。平和な日本でも、戦争で被害を受けている国々の人々と同様に、日常生活があつという間に破壊される理不尽さに恐怖と怒りを覚えます。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、どんなことが私たちにできるのか子どもたちとともに考えていきたいと思えます。

さて、1月の生活のめあては「新しいことを考えよう」です。現在、相山女学園では2024年4月～2029年3月までの5ヶ年の中期計画を策定中です。その中で、

- (1) 課題解決型学習(PBL)や探究学習の推進
- (2) ICT 機器やツールの積極的な利活用と教育DXの推進
- (3) トータルライフデザイン教育と持続的な学びやリカレント教育の実践

の3点から教育の質的向上を図っていきます。(3)の「トータルライフデザイン教育」とは耳慣れない言葉かもしれませんが、女性が社会で自立して生きていくための就業力を養成し、自ら考え判断できる女性として、主体的に組織を支え、地域と関わり、社会に貢献できる力を育てていくものです。

こうした学園の新たな方針を受け、本校も学園の一役を担う存在として、新たな計画づくりを進めています。現在検討している内容は、

- (1) 探究(プロジェクト型)学習の充実
- (2) 個別最適な学びの充実

の二点です。これまで以上に子どもたちに委ねる学習、

言い換えると子どもたちの主体的な学びを見守り支える教育活動への強化を図っていきます。例えば、(1)の探究学習では、子どもたちの主体性やアイデアが発揮できるような総合的な学習をつくっていきます。

(例) 「東運動場に楽しい遊具をつくるプロジェクト」を立ち上げ、総合的な学習の中で①予算⇒折衝相手 ②デザイン⇒情報収集⇒全校による投票…といったように実現に向けた活動を進める。

(2)の個別最適な学びでは、個々が自分の力を伸ばせる環境をつくっていきます。

(例) 英語力の個人差が顕著になる高学年において能力別に1学級を2グループに分け、さらに難しいことに挑戦したり、より分かりやすい授業を受けたりできるようにしていく。

この他にも取り組んでいきたいことはいくつかあります。「〇〇が楽しみだから学校へ行きたい」と一人でも多くの子どもたちから言ってもらえることを目標に、5年間のうちにどのように実現していくのか具体的な計画を立てていきます。計画が定まり次第、随時お知らせする予定です。

(お詫び)

昨年12月23日の報道により、保護者の皆様や子どもたちに不安や心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。12月25日の保護者説明会では、多数の皆さまにお集まりいただき、日記指導や日記を書いた児童への対応などについて、ご叱責とともに励ましの言葉もいただきました。相山小学校といたしましては日記の役割、花丸の扱い、長期休業中の日記指導について、再度教職員で確認し再発防止に努めていく所存です。学校に対する皆様の信頼を裏切る形となったことを改めてお詫びいたしますとともに、一日でも早く信頼を回復できるように職員一同努力してまいります。手前勝手に申し訳ございませんが、今後もこれまで同様のご支援、ご協力をいただければ有り難く存じます。

(本校HPもご覧ください)